

原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www10.plala.or.jp/antiatom/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年3月27日 No.37

平和行進
50周年

オルダーストン⇒ヒロシマへ 日・英連帯で20km行進

1958年3月のイースターに、ロンドンからオルダーストンに向けて平和行進が行われてから50年目の3月23日、日本原水協代表団がかつて米軍の巡航核ミサイル基地のあったグリーンナムコモン基地(現公園)から核兵器工場のあるオルダーストンまで平和行進を行いました。今年の国民平和大行進四国 広島コース通し行進者の竹田昭彦さんから、寄せられた日記(要旨)を紹介します。

竹田昭彦日記(02) 3月23日(日) 核基地を撤去させた女性のパワー

今日は、日本の平和行進団が、米軍の核兵器があったグリーンナムコモン基地から、イギリスの核兵器工場があるオルダーストンまで、20 kmを歩く日です。

かつて米軍の巡航核ミサイル基地のあったグリーンナムコモン基地の中央広場で、CND(核軍縮キャンペーン)から特製の旗の贈呈式がありました。挨拶したケイト・ハドソンCND議長は、「イギリスの核兵器反対運動は、日本の運動から励ましを受けてきました」と話し、日本の原水爆禁止運動に連帯を表明されました。

かつて、基地の正門前に張られていた、核基地反対女性キャンペーンの跡地(現グリーンパーク)で、基地撤去の闘いの報告を受けました。この核基地撤去運動は、女性を先頭にしてイギリス全土に広がり、1987年に撤去されました。

今日の行進は、日本の平和行進団のために組まれていました。CNDのスタッフの皆さんが、細心の注意をはらい、安全に誘導されました。早足で20 km歩く「強行軍」でしたが、イギリスの平和運動の歴史を肌で感じる素晴らしい機会でした。

オルダーストン平和行進の詳細は『原水協通信』ブログで読むことができます。<http://www.antiatom.org/blog/04/>



日本原水協の横断幕を持って行進する、左からブルース・ケントさん、被爆者の佐藤良生さん、団長の片山明吉・長崎県原水協事務局長(3月23日、イギリス・オルダーストン)

英グリーンナムコモン基地平和キャンプ記念碑前でCNDから寄贈された旗(左側)とケイト・ハドソン議長(旗を持つ左から3人目) = 3月23日



「非核日本宣言」求める決議次ぎ採択

3月議会で、各地で「非核日本宣言」を求める意見書が採択されています。埼玉県では、八潮市、桶川市、嵐山町、小川町、深谷市、川口市、三芳町の7議会で採択。深谷市をのぞきいずれも全会一致です。深谷市議会では、公明党が反対討論を行いました。賛成多数で議決されました。

岡山県では、新たに「非核日本宣言」意見書が、新見市、井原市、里庄町、早島町で採択されました。

広島県では、竹原市議会で15人全員一致で可決・採択されています。

オルダーストン核施設管理者への要請状

私たちは、1958年のオルダーストン平和行進の50周年を記念する行動に参加している原水爆禁止日本協議会の代表団の名で、あなた方に核兵器のない世界を実現するための特別の努力を要請します。

1945年8月、広島と長崎に投下された原爆は、現在の核兵器とは比較にならない初步的な核兵器でしたが、その年の暮れまでに広島では14万、長崎では7万の人びとの命を奪い、二つの都市を壊滅させ、いまなお25万人の生存被爆者が心と体の傷に苦しんでいます。

核兵器の使用は人道に対する犯罪であり、核兵器の開発、保有はそれ自体、人類の生存に対する脅威をつくりだすものです。

私たちは、イギリス政府が、2000年5月、核保有5カ国政府がおこなった「自国の核兵器の完全廃絶」を達成するという「明確な約束」を守り、他の核兵器保有国に呼びかけて、核兵器全面禁止プロセスを開始するイニシアチブを発揮すること、そしてその誠意の証として、イギリスの核軍縮の努力に着手するよう、要望するものです。

2008年3月24日
原水爆禁止日本協議会オルダーストン行進代表団